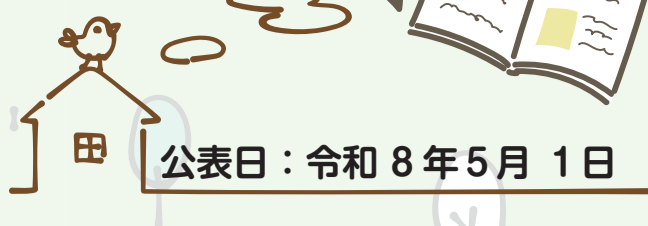


コンパス摂津
事業所における自己評価結果(公表)

公表日：令和8年5月1日



	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2		必要に応じて、支援に必要な教員教材を訪問先機関に持参し、支援できる準備をおこなっております。	授業の場面で必要なツールやアイテムなどがある場合には、事業所から持参し、訪問先にあるものなどを活用していけるとよいと考えております。
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、訪問支援員が1人以上配置と定められております。コンパス摂津では資格や経験等を考慮して訪問支援員を配置しております。	引き続き利用児童に対して、適切な配置を定めてまいります。
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		定期的に職員会議を開催し、常勤・非常勤を含め全員が参加して日々、課題や改善点について話し合いをおこなっております。	職員の勤務時間や勤務に合わせた日時などを調節して話し合いの場を設けてまいります。また、職員全員が会議内容を把握できるように会議録を作成して情報共有してまいります。
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		契約の際など自己評価につながる内容の説明は十分に行っておりません。また、保護者様が気になる事を話しやすい関係や雰囲気を作りながら努めております。	ご相談があった場合は職員間で情報共有し、対応を検討してまいります。
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		職員間同士で発言しやすい環境づくりを意識し、業務改善に努めております。	日々のコミュニケーションを大事にしなが、職員が意見しやすい職場づくりを目指しています。また、得られた意見の中で、必要な改善点については、会議などで改善してまいります。
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	2		社内のオンライン動画等を活用して研修をおこない、資質の向上に努めております。	今後も事業所内研修を継続し、研鑽に努め職員一人一人の専門性を高めてまいります。
	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		社内で統一されたアセスメントシートを用いて、一人ひとりに合った計画を立案しております。	引き続き、児童とご家族のニーズを丁寧にアセスメントし、支援計画を作成をおこなってまいります。
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		計画作成時に限らず、児童の近況や療育内容など、情報共有や検討をおこなっております。	今後も児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討を続けてまいります。
10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者や連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		保育所等訪問支援計画に沿った支援をおこなわれるよう、職員間共通認識を図り、支援をおこなっております。	引き続き、訪問先事業所の担当者との連携を図りながら支援方針や支援計画を確認してまいります。	
11 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		保育所等訪問支援計画は職員間で共有し、計画に沿った支援をおこなっております。	引き続き丁寧な支援を継続していきまいります。	
適切な支援の提供	12 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		使用する書式を統一し、年齢、特性に合わせたアセスメントツールを使用しております。	今後も前回の計画からの変化をアセスメントの中で把握しながら、児童の成長に合わせた支援をおこなってまいります。その都度、職員間で情報共有をおこなってまいります。
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		今後も計画の見直しの際には、保護者様と児童の現状とニーズを十分に把握した上で、必要な支援を提案し、具体的な支援内容の充実に努めてまいります。	
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		保育所等訪問支援計画は職員間で共有し、計画に沿った支援をおこなっております。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		朝会や職員会議で必ず打合せをおこない、支援の内容や役割分担について確認をおこなっております。	今後も、チームアプローチによる支援をおこなってまいります。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	2		記録用紙を準備し、共有内容について記録を残し、気になることがある場合には、職員間で報告や共有をおこなっております。	確実に情報共有できるよう、支援終了後に気付いた成長や課題を職員間で話し合い、記録を残し全員に周知できるようにしてまいります。
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		支援スキルの向上を目指し、社内研修や職員会議を通して支援方法の知識向上に努めてまいります。	
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげております。	引き続き、記録用紙を使用しながら、質の高い支援をおこなえるよう検証・改善に努めてまいります。
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		定期的に保護者様や訪問先の意向の確認やモニタリングをおこない、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しをおこなう準備をしております。個々のケースの状況に応じて、継続や終了などの判断も考えてまいります。	職員間でさらに共通理解を図りながら、ケースごとに支援計画の見直しの必要性を判断してまいります。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		担当者会議には、児童の状況を最も把握している児童発達支援管理責任者が参加しております。	担当者会議に参加する職員は、支援に携わっている職員からの意見や、情報をもとに関係機関に情報提供ができるよう努めてまいります。
	21 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		利用児童の関係する機関や医療機関との連携、地域生活の充実に向けた連携などを地域自立支援協議会などへの参加を通して、ネットワークづくりをおこなっております。	引き続き、児童を中心に据えた機関同士の連携や、地域のさまざまなネットワークに関与していくことで、地域のネットワークの向上と、児童たちが生活する地域のさらなる豊かさにつなげていくよう努めてまいります。
22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		必要に応じて、支援内容や学校生活での配慮事項などの情報共有をおこない、相互理解を図っております。	利用児童や保護者様が安心して学校生活を送れるよう、引き続き切れ目のない支援を行ってまいります。	
23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		年間計画に基づいた研修機会を設定し、社内のオンライン動画等を活用して研修をおこない、資質の向上に努めております。	今後も事業所内研修や外部研修への参加を継続し、研鑽に努め、職員一人ひとりの専門性を高めてまいります。	
24 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		現在、交流の機会は設けておりません。	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等への参加機会を確認し、必要に応じて参加を検討してまいります。	
25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		支援、関わりの中で気づいたことがあれば、保護者様に伝え共通理解を持ってようとしています。	今後も、送迎時や電話等連絡しやすい環境を整え、情報交換・共有に努めてまいります。	
26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		ペアレント・トレーニングや各種講座を年間を通して実施しております。登園頻度の少ない保護者様は、動画等を活用して情報提供の機会を設けるなどの工夫をおこなっております。	引き続き、保護者様のニーズに沿った企画をおこない、家族への支援をおこなってまいります。	
関係機関や保護者との連携	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		利用開始前や利用開始時に、保護者様に分かりやすい説明をおこなうよう努めております。変更が生じた際には、職員間で共有をおこなっております。	保護者様にごどのように伝えているか、何を説明しているのかについて、職員にも適宜周知してまいります。
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		児童発達支援管理責任者が対応し、丁寧な説明をおこない、質問事項に答えられるようにしています。	契約時のみならず、契約内容に変更があった場合にも説明をおこなってまいります。
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		保育所等訪問支援計画の作成にあたり、子どもや保護者の意思を尊重し、子どもの最善の利益を優先しつつ、意向を確認するよう努めております。	引き続き、保護者様と児童の意向を丁寧に確認してまいります。
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		丁寧に保護者様と話をとおこなったりしながら、合意形成しています。	引き続き、質の高い支援につながる支援計画の作成を、保護者様と一緒にとおこなってまいります。
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		保護者様からの相談に応じるとともに、いただいた情報を職員間で共有し、家族支援についてもチームで対応しております。	引き続き、保護者様が相談できる仕組みの周知や、安心して相談できる環境づくりをおこなってまいります。
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		現在は交流の機会は設けておりません。	個人情報に留意し保護者様同士で意見や情報を交換できる場を設けられたらと考えております。
	33 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		保護者様からの相談に応じ、多職種で連携し、児童に必要な支援について保護者様とともに検討しております。	その場での返事が難しい内容は職員会議で話し合ってお対応しております。
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2		COMPASSによりを季刊で発行しております。また、WEBサイトのブログを通して活動や児童の成長について発信をおこなっております。	ブログでの活動内容の報告や、定期的なCOMPASSだよりの発行を継続し、内容の充実を図ってまいります。また、事業所での行事の様子についても、保護者様が見て楽しめるような発信に努めてまいります。
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	個人情報に関するヒヤリハット事例などを参考にしながら、個人情報の取り扱いについて、全職員が共通認識を持てるよう、全園を上げて引き続き取り組んでまいります。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		個々の特性に応じた伝え方を工夫し、保護者様へは専門用語を避け、分かりやすい言葉での説明に努めております。	相談窓口を児童発達支援管理責任者にして、保護者様の困り事、相談にスムーズに対応出来るよう心がけてまいります。
訪問先施設への説明等	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援をおこなっております。	引き続き、相談しやすい雰囲気づくりや仕組みを準備し、タイムリーに相談にこたえてまいります。
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		保育所等訪問支援の実施後には、訪問先事業所とカンファレンスをおこない、その日の児童の様子や支援内容の共有、助言をおこなっております。	引き続き、訪問先事業所と情報共有をおこなってまいります。
	39 保育所等訪問支援の実施後に、ご家族に対して対面や電話等により、訪問先での児童の様子や支援内容の共有をおこなっております。	2		保育所等訪問支援の実施後には、ご家族に対して対面や電話等により、訪問先での児童の様子や支援内容の共有をおこなっております。	引き続き、支援実施後に、ご家族と児童の様子について共有するよう努めてまいります。
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		訪問先事業所等への説明等において、個人情報の保護など個人情報の取り扱いに留意しております。	今後も、個人情報の管理については、最大限に注意を払い全職員が意識し安心してサービスをご利用いただけるよう徹底してまいります。
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		訪問先施設からの相談に対し、適切に応じながら信頼関係を築き、専門的な助言をおこなっております。	引き続き、訪問先機関と信頼関係を築きながら、児童の育ちを一緒に考えてまいります。
非常時等の対応	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		各種マニュアルを整備し、年間計画に基づき必要な訓練をおこなっております。	必要に応じてマニュアルなどの見直しをおこない、訓練なども実施しております。訪問先などでの緊急事態に際しては、訪問先の対応に準じてまいります。
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		安全に関する各種マニュアルを整備し、年間計画に基づき訓練をおこない、安全管理に努めてまいります。	引き続き、利用児童が安全に過ごせるよう、必要な取り組みを継続してまいります。
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	2		ヒヤリハット報告書はすべての都度、記録し全職員に共有して再発防止に努めております。	引き続きヒヤリハットの事例を情報共有し全職員がヒヤリハットを認識できるような仕組みづくりに取り組み、児童が安全に過ごせるよう努めてまいります。
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		研修機会や情報共有を通して、虐待防止に取り組んでおります。	引き続き、虐待防止に向けて高い意識を持てるような取り組みをおこなってまいります。
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		原則として身体拘束をおこないません。やむを得ず必要と判断される場合には、事前に保護者様へ十分な説明をおこない、同意を得た上で、児童発達支援計画に記載してまいります。	今後も保護者様へやむを得ない状況に限ってとおこなわれることについて十分に説明をおこない、同意を得たうえで支援計画にも記載してまいります。

